

LITEX™

建材用総合カタログ

高性能住宅のために開発された ハイグレード 透湿・防水シート



JIS A 6111
外壁用透湿防水シート B (II-1)
JTCCM 建材試験センター
認証番号: TCCN25093
江蘇青昀新材料有限公司
Kingwills Advanced Materials Co.,Ltd

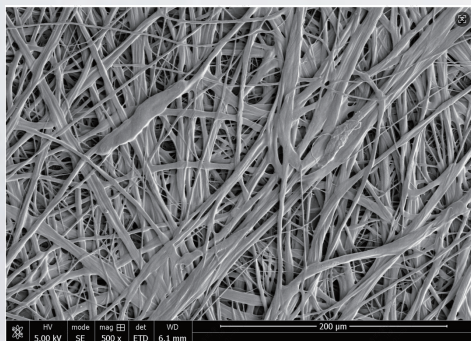
LITEX™ ライテックス™

ライテックス™はフラッシュスパン製法でつくられた透湿・防水シートです。

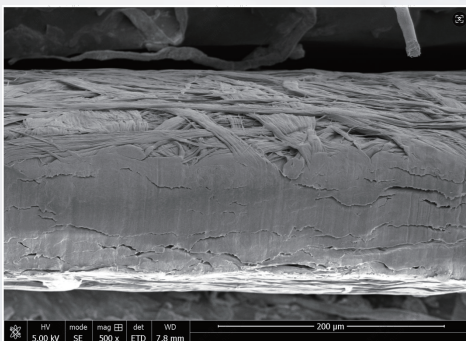
ナノメートル級に細い高密度ポリエチレンを積層し、熱圧着プロセスにより製造された高強度フィラメント不織布です。

電子顕微鏡写真

表面 (X500)



断面 (X500)



ライテックス™はフィルムと不織布を貼り合わせた複層構造ではなく、極細長繊維による単層構造となっています。そのため傷や剥がれにも強く、長期にわたり防水性を維持します。

20年保証製品



30年耐久性試験結果に基づいて20年の防水耐久性保証を付与しています。高い初期性能と劣化しにくい構造によって実現しています。



防水性

最新の製造設備と高い技術で製造されたライテックス™は繊維構造にムラが少なく均一な防水性を有しています。



強度

ランダムに積層された不織布構造のためあらゆる確度からの引っ張りに強く施工時にも安心のです。



透湿性

ナノレベルの繊維で構成されるフラッシュスパン不織布には目に見えない湿気を通す隙間が無数に存在しています。



耐久性

紫外線劣化防止剤と細やかな不織布構造によって長期にわたり防水性能が低下しにくい構造となっています。



防風性

ムラの少ない細やかで密度の高い繊維構造により、躯体への冷気侵入を防ぐ、優れた防風性能を有しています。



リサイクル

高密度ポリエチレン (HDPE) 100%の不織布となっているためリサイクルもしやすい素材です。



環境配慮への取り組み

一般的に不織布の生産で使用されてきたフッ素を一切使用しておりません。さらに、蛍光剤も使用していないため人体にも環境にも優しい素材です。また、工場にはソーラーパネルを設置し、使用電力の約7割を自然エネルギーで賄うことで、環境負荷の低減にも努めています。

業界初 600mm 幅 & 1600mm 幅をラインナップ さらに現場の施工性を向上させます。

IS A 6111:2016 適合 透湿・防水シート

ライテックス™ ハウスラップ
ライテックス™ シルバー

1600mm × 30m (ワイドシート)
1000mm × 50m
600mm × 50m (ユーティリティシート)

ライテックス™ シルバー の優れた性能



遮熱性

ライテックス™ シルバーの赤外線反射率は 85.3%
サーモグラフィカメラによって高い遮熱性を検証
しています。

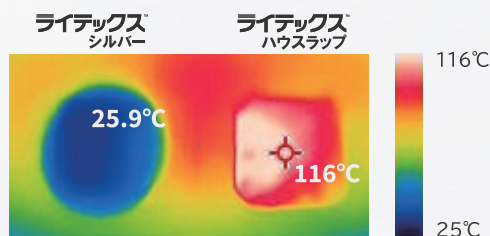


透湿性

JIS A 6111 : シート B 規格に合致する高いレベル
の透湿性を確保し、寒冷地でも安心して施工する
ことができます。(気密シート施工省略可能)

サーモグラフィカメラでの測定

くり抜いた板紙にそれぞれの製品を貼り付けて赤外線
ストロブの前に置いてサーモカメラで測定しました。



防蟻防腐剤にも強いスーパーコーティング (SC 加工) を施していますので、薬剤注入された胴縁施工でも安心です。

物性一覧 (試験方法 JIS A 6111:2016 準拠)

項目	単位	JIS 規格値	ライテックス™ ハウスラップ	ライテックス™ シルバー	
目付	g / m ²	-	60	63	
厚み	mm	-	0.165	0.170	
引張強度 縦	N/5cm	100 以上	190	180	
引張強度 横	N/5cm	100 以上	145	128	
引張伸度 縦	%	-	20	15	
引張伸度 横	%	-	30	20	
つづら針強さ 縦	N	27 以上	45	48	
つづら針強さ 横	N	27 以上	40	39	
防水性	Kpa	10 以上	41	31	
発火性	-	発火しない	発火しない	発火しない	
防風性	s/100cc	10 以上	40	45	
透湿性	m ² · s · Pa / μg	A : 0.19 以下 B : 0.13 以下	0.12	0.11	
熱収縮性	-	1.5 以下	0.3	0.2	
30 年 耐 久 性 試 験	引張強度残存率 縦	%	初期値の 50 以上	91	76
	引張強度残存率 横	%	初期値の 50 以上	66	66
	引張伸度残存率 縦	%	表示すること	75	50
	引張伸度残存率 横	%	表示すること	32	35
	防水性	Kpa	8 以上	45	34

上記試験結果は測定値であり保証値ではありません。



取り扱い注意事項

- ・施工前に必ずシートに記載されている製造年月を確認してください。
- ・シートに傷や破れがないか確認してください。破れを補修する場合は、防水テープを使用してください。
- ・梱包材に入れたまま、高温、水濡れ、直射日光に曝されない場所に保管し、施工現場にて梱包材から取り出してください。
- ・長期間屋外に放置されてしまうと劣化の原因となります。
- ・火気および高熱によって溶けたり燃えたりすることがありますので、火気や高熱物を近づけないでください。
- ・柱や土台などへの防蟻・防腐剤の散布は、透湿防水シート施工前に行い、完全に乾燥してからシートを施工してください。
- ・一部の防蟻・防腐処理された通気胴縁には、降雨水が掛かると薬剤成分が流れ出し、透湿防水シートの防水性能を低下させる恐れがあります。
- ・防蟻・防腐処理された通気胴縁を使用する際には、胴縁施工後、降雨水が掛からないように適時養生し、速やかに外壁材の施工を完了させてください。
- ・外壁施工前に多量の降雨が予想される場合には、必要に応じ、養生シートなどで覆うなどの雨水対策を行ってください。
- ・外壁材とシートの間には必ず通気層を設けてください。モルタル直塗り工法の下地としては使用できません。
- ・現場発泡断熱材を直接、透湿防水シートに吹き付けしないでください。透湿防水シートの性能・品質に影響を及ぼす恐れがありますので必ず下地材へ吹き付けてください。
- ・外装材の施工は、透湿防水シート施工後、速やかに行ってください。(JIS A 6111では60日以内の施工が前提です。)
- ・下記、施工の基本事項を参考に施工してください。

施工の基本

- ・透湿防水シートの施工は横張りとし、下から張り上げます。
- ・縦方向の重ねしろは90mm以上とします。横方向の重ねしろは、150mm以上としますが、下地に耐力壁などの面材がない場合は柱・間柱分の間隔で重ねを設けてください。
- ・入隅・出隅部は通して施工することができます。入隅部でシートが角部で浮いたまま胴縁施工するとシートを破ってしまう恐れがありますのでご注意ください。重ね合わせて2重張りに施工する場合は、一般部と同様の重ねしろを確保できるようにしてください。
- ・シートはたるみのないように引っ張りながら施工します。必ず下地があるところでタッカーで留め付けてください。
- ・防水テープは透湿防水シートに悪影響を与える物質を含まないものを選択してください。
- ・開口部については、サッシメーカーの仕様に従って防水処理を行ってください。

当社では施工後20年間の製品保証を行っております。詳細はお問合せください。

総輸入販売元

INNOBIS
イノービス株式会社

〒110-0015
東京都台東区東上野 3丁目18番1号 406
TEL : 03-6820-5870
Mail : contact@innobis.co.jp